

SAPPORO



The WALL vol.6 KINJO

2025.8.23sat - 2026.1.7wed

札幌大通地下ギャラリー
500m美術館 Vol.51
Sapporo Odori 500-m Underground Walkway Gallery

会場 | 札幌大通地下ギャラリー500m美術館 札幌市中央区大通西1丁目～大通東2丁目(札幌市営地下鉄大通駅と地下鉄東西線バスセンター前駅間の地下コンコース)
時間 | 7:30-22:00 参加作家 | KINJO 主催 | 札幌市 企画運営 | CAI現代芸術研究所/CAI03(有限会社クスト)、一般社団法人PROJECTA 協力 | SIDE CORE <https://www.500m.jp/>

札幌大通地下ギャラリー500m美術館の全長118メートルに及ぶ壁面を
舞台に、現代における“壁画”を考察するシリーズ「The WALL」。

その第6弾として、アーティスト・KINJOを迎えた新作を展開します。

KINJOは、沖縄にルーツを持ち、日本と関わりの深いアメリカ文化を題材に、絵画・立体・パフォーマンスなど多彩な表現を行ってきました。

本作では、都市の地下に広がる空間を「現代の洞窟」と見立て、そこに息づく気配や記憶を、「目」のモチーフを通して浮かび上がらせようとしています。「目」はKINJOの作品における中心的なモチーフで、「見る／見られる」「意識／無意識」「個／群」といった境界を問いかける存在です。

地下道という空間は、一見ただ通過するだけの場所ですが、その中には、都市の無意識や人々の行き交う気配、そして誰かに見られているような感覚が潜んでいます。この壁画では、そうした見えない層に目を向け、壁そのものに「目」を描くことで、鑑賞者と空間とのあいだに新たな対話を生み出そうとしています。

The WALL vol.6 KINJO

2025.8.23sat - 2026.1.7wed



ご来場いただいた方を対象にWEB アンケートを実施しております。
今後のより良い企画運営のため、ご協力をお願いいたします。

●回答方法／スマートフォンやパソコンを使って下記URL又は二次元コードからアクセスしご回答ください。

札幌市公式HP ホーム > 教育・文化・スポーツ > 文化・芸術 > 札幌市所管の文化施設について(指定管理者制度など) > 札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」
https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2025_questionnaire500m.html



参考作品：KINJO《One's eyes》2022
Acrylic, aerosol, oil, oilstick, housepaint,
oilpastel on stitched canvas / 1620×1300×40mm

KINJO

東京生まれ。沖縄にルーツを持ち、日本と関わりの深いアメリカ文化を題材にした絵画や立体、パフォーマンスを発表している。「暗闇に光る目」「シリアルパッケージ」「蛇」などの記号を、描いては消すという作業を繰り返すなかで、そのアウトラインは薄ぼけて曖昧になり、作家自身のポートレイトのように愛嬌のある姿で「個人的な存在」へと変容していく。それは、KINJOにとっての自画像のようなものであり、自らのルーツを掘り下げていく行為でもある。

・近年の主な展示

「It is there, but it is not there, | 在るけどない、ないけど在る」(ISLAND JAPAN, 東京, 2025)
「Things in the corner」(E2 gallery, 東京, 2025)
「VOID」(光灯gallery, 東京, 2025)
「KOVER」(dopeness artlab, 台湾, 2024)
「Come From Somewhere」(PARCEL, 東京, 2024)
「放浪の配慮」(BEAMS, 東京, 2024)
「Not See It Even」(MOOSEY, ロンドン, 2023)
「PLACE」(Tokyo International Gallery, 東京, 2023)
「TRANSPARENT GARDENER」(YIRI ARTS, 台北, 2023)